

御前山ビオトープ通信

平成22年4月21日

第28号

編集： NPO「美しい田園21」 清野

メール：denen21@hb.tp1.jpホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>

目次

- 1 「桜」について学ぼう：講演会
「御前山ダム周辺を日本一の山桜の森に」
- 2 カタクリ等の移植
御前山小学校5年生も参加

【案内図】



1 「桜」について学ぼう：講演会

御前山は昔から自生の山桜が多く、御前山ダム周辺でも4月中下旬には素晴らしい景観を楽しむことができます。ダム完成を間近にして、ダム湖面に映える「日本一の山桜の森」を育てられないかと話が盛り上がってきました。そこで、まず山桜について勉強しようと、御前山ダム環境センターの主宰で4月15日午後1時から市役所御前山支所において講演会を開きました。

講師は「桜の専門家」としてつくば市にある(独)森林総合研究所の勝木俊雄主任研究官に依頼しました。午前中、現地調査を行い、雨の中でしたが常陸大宮市長も駆けつけて「山桜の森構想」に大いに賛同していただきました。またサンプリングして研究所でDNA分析してもらうことになっています。

講演会では、日本に自生する在来種の桜は9種程度しかない。御前山にはそのうちヤマザクラ、エドヒガンザクラ、カスミザクラの3種が自生している。霞桜は山桜とはほとんど違いはないが開花時期が遅いので、全体として長い期間咲いているように見える。

桜を増やす方法としては、接木、挿し木、種子、山採り苗(当年生実生)、山採り苗(稚樹)の5通りが考えられる。

接木と挿し木は数が多くはできず、台木の方がかってに繁殖すると生態系に影響する恐れがある。

スライドなどを使って桜の講演会



種子採取は大量増殖には有効だが発芽までの管理に難しい側面がある。山採り苗は多数の苗を確保するには人手があれば確実な方法であることなどの説明がありました。

御前山ダム環境センターとしては、御前山周辺は県立自然公園区域として生態系保全が重要であることから、在来樹の種子採取、山採り苗などに取り組むこと。ダム湖を周回する山林はかなり広いので2万本くらいを目標にする。すでに山林地主の理解はもらっているが更に幅広い市民運動として取り組む。第一歩として地元御前山小学校の児童生徒にも参加してもらう。苗が大きくなる

雨の中、常陸大宮市長も現地視察に参加 正面がダム湖(予定)対岸の山桜



まで近隣の農家などに育ててもらおう住民参加方式を導入するなど、今後の取り組みについて熱心に話し合いが行われました。

2 カタクリ等の移植

平成 22 年度になり最初のビオトープ育成作業を 4 月 20 日（火）に行いました。今回は山野草の移植作業で、県内外からのボランティアが約 60 名に、御前山小学校

が合併後初めて 5 年生約 30 名が参加することとなり、全体では 90 数名が集合しました。

子供たちが来ることもあり、地元檜山集落の皆さんがハリキッテ、早朝、集合時間の 1 時間も前から山野草の採取作業に出発。9 時半に集合して挨拶や作業分担、10 時前には子供たちも到着。

早速、山野草採取、移植地整備、池整備の三班に分かれて作業開始。子供たちは階段教室でダムやビオトープの目的、山野草の説明、最近問題になっている「アライグマ」のことなどを勉強したあと、移植作業に入ります。

今回はカタクリ、ニリンソウ、イチゲの 3 種を移植しました。校長先生が率先して子供たちと一緒に作業してくれました。1 時間ほどでしたが一所懸命やってもらったお陰で立派になりました。種ではなく球根を直接移植したので来年の春（3 月下旬から 4 月上旬）にはすぐに花が咲きます。ホームページなどで開花情報を発信しますので楽しみにしてください。

ボランティアの皆さんには間伐材を利用して移植地の木道や排水路を整備してもらい、これまた立派になりました。子供たちは 11 時半頃には作業も終わり元気に挨拶して帰って行きました。その後、採取第 2 段も到着して、カタクリを中心に植栽範囲もかなり広がりました。

作業も順調に進んだので、少し早めに昼食です。今回は待望の地元御前山で捕獲した「イノシシの肉」のバーベキューがメインディッシュです。想像していたより臭みもなく、なかなかの野生の味を堪能できました。おにぎりや漬物などの差し入れもあり、穏やかな天気で一休みできました。

午後からは、せっかくの機会なので懸案であった池の整備に。10 年近く葦が繁茂し、生態系としても閉塞状態だったので中池の葦を除去することにしました。しかし、根茎がしっかりと張っていて簡単には除去できません。皆さんにはか

かなりの重労働をさせてしまい申し訳ありませんでしたが、1 時間ほどできれいになりありがとうございました。感謝感謝！！

作業後に、国営事業所の案内で御前山ダムの監査廊などを見学しました。土木関係者が多かったのでほとんどの人が興味をもって参加しました。ただ、最後の登り 40 度の急傾斜には全員が休み休みでも息が絶え絶えと苦勞しました。最後に、ダム堤体で記念撮影、お疲れ様でした！！！！

階段教室で
ビオトープ学校



山野草の移植作業



中池の葦除去作業



監査廊から這い上がって一息

